

# OPALLOS

OCTOBER 2007

ウーラノス

Vol.26

## 特集 NEW WAVE TGU

- 現代の関心に応える公開講座 - 1
- 歴史を伝え、今に導く - 3
- 学長室より - 4
- 協奏、そして共創へ - 5
- 学部より - 7
- 大学院より - 8
- 学生たちは、今 - 9
- 同窓生を訪ねて - 10
- 就職部より - 11

『信頼』。社会の大きな変化の中で、従来から存在した様々な繋がりが壊されてきています。激しい競争原理の中で必要と思われるものでさえ切り捨てられています。本来、社会は協働原理で成り立っていたことを想起し、互いに絆を取り戻し、相互信頼に基づく社会の構築を思い、本学に与えられた社会的役割を十全に果たしていきたいと考えています。

# 現代の関心に応える公開

- 歴史を通して世界情勢・社会問題を考える -

歴史学科では、毎年、春と秋の2回、公開講座を開催しています。そのうち春の公開講座は宮城県と共催で、みやぎ県民大学「大学開放講座」という形で行っています。今年は「戦いの歴史2」ということで、一昨年に引き続いて歴史の中の戦争をテーマに実施いたしました。



歴史はおもしろい

## 古今東西の「戦いの歴史」から 現代の世界情勢をみる

これまでの世界の歴史において、戦争が社会やその後の歴史に大きな影響を及ぼしてきたことは改めて言うまでもないことと思います。今回の講座では、その中からローマ帝国、中国の春秋戦国時代、源頼朝と奥州藤原氏、明から清への興亡、アメリカ南北戦争、太平洋戦争など、古今東西の“戦い”を取り上げ、6人の先生にお話しをしていただきました。昨今、世界各地で民族対立、あるいは宗教対立に起因する戦争があとを絶たず、深刻な国際問題になっていることは周知の通りです。そのような現代につながるテーマでもあったためだと思いますが、受講生の皆さんの評判も上々で、ぜひ引き続いて「戦いの歴史3」を行ってほしいという声寄せられました。

## 女性を歴史の主体として考える 新しい“女性史”

また秋期の公開講座は、今年でちょうど10年目を迎えました。常連の受講生の方も大勢おられて、歴史学科の行事としてすっかり定着した感があります。今年は「歴史の中の女性像」をテーマに連続5回の予定で、9月15日から10月13日までの毎週土曜日の午後、2時間にわたって開催されています。

“女性史”は、歴史学で、近年、特に研究が盛んになってきた分野です。歴史書は、どの国でも男性の手によって編纂されるのが常でした。そのため、女性はたいてい男性を支える陰の存在として描かれてきました。

# 講座

文学部 教授 くま がい きみ お 熊谷公男

“女性史”は、そのような見方を改め、女性を歴史の主体として捉え直そうとして生まれた歴史学の新しいジャンルです。

## さまざまな観点から 近世女性史を紐解く

今回、私は、たまたま第1回の講座を担当して、「古代の皇位継承と女帝」という題でお話をさせていただきました。200名ほどの受講生がおいででしたが、いつもと比べますとやはり女性の方が目立ちました。小泉政権時代に女性天皇を認めるかどうかが政治問題になったこともあり、皆さんの関心も高く、講座修了後には、何人かの方が熱心に質問に来られました。講座は、今後、中国の皇帝の王女たちの生活、15世紀のヨーロッパの女性が記した旅行記を通して見る女性市民の姿、近世ヨーロッパに吹き荒れた魔女狩りの新たな視点からの再検討、そして最終回には日本の近世女性史研究の成果をふまえて山田洋次監督の「たそがれ清兵衛」を見直してみるユニークな講義など、日本・中国・ヨーロッパの女性に新たな光を当てる話が続きます。

## 今後も現代の関心に応える テーマを取り上げていきます

人間の織りなす歴史は、言うまでもなくおもしろいものですが、本講座では今後できるだけ現代の関心にマッチした歴史的なテーマをとりあげて、市民の皆さんに語りかけていきたいと思っています。

## 秋の公開講座一覧

	講座名	日時	回数	場所
1	オープン・リサーチ・センター 東北産業経済研究所公開シンポジウム 北上川舟運を通してみる鉄道開通以前の物流体系	9/1(土) 12:40~17:00	1	土樋 キャンパス
2	文学部歴史学科第10回公開講座 歴史の中の女性像	9/15(土)~10/13(土) 13:30~15:30	5	土樋 キャンパス
3	平成19年度オープン・カレッジ 福祉社会論・続・福祉のいまとこれからをまなぶ	9/22(土)~11/24(土) 13:30~15:00	9	土樋 キャンパス
4	オーディオビジュアルセンター公開学術講演会 中国語の発想と日本語の発想 -文化摩擦を楽しむために-	9/28(金) 12:40~14:10	1	泉 キャンパス
5	オープン・リサーチ・センター (アジア流域文化論研究プロジェクト)公開学術座談会 長江流域出土文字資料研究二十年	10/10(水) 13:00~	1	土樋 キャンパス
6	人間情報学研究所主催 第13回講演会 世界最大の加速器実験LHCとそれを支えるコンピューティンググリッド	10/12(金) 13:00~15:00	1	土樋 キャンパス
	今井奈緒子オルガン演奏会	10/19(金) 19:00~20:30	1	土樋 キャンパス
7	キリスト教文化研究所 第26回キリスト教文化講座	10/16(火)~30(火) 18:00~19:30	5	土樋 キャンパス
8	平成19年度文学部英文学科公開講座 英詩とイングランドの歴史	10/20(土)~11/24(土) 14:20~15:50	5	土樋 キャンパス
9	法学政治学研究所 第15回学術講演会 憲法改正問題と民法	10/25(木) 15:30~17:00	1	土樋 キャンパス
10	平成19年度みやぎ県民大学開放講座 市民のための株式投資入門	10/25(木)~11/15(木) 18:00~20:00	4	土樋 キャンパス
11	オープン・リサーチ・センター (アジア流域文化論研究プロジェクト)国際シンポジウム 百済と倭国を考える - 地域社会と交流 -	10/26(金)13:00~17:10 10/27(土)10:00~17:10	2	土樋 キャンパス
12	河合和雄オルガン演奏会	11/9(金) 19:00~20:30	1	泉 キャンパス
	第12回宗教音楽研究所公開講座 オルガン演奏法【開講式・修了演奏会】	11/13(火) 17:30~20:30	1	泉 キャンパス
13	英語文学研究所学術講演会 ポップ・カルチャーとシェイクスピア	11/16(金) 14:20~15:50	1	土樋 キャンパス
14	法学政治学研究所主催 第18回公開講座 市民生活と法	11/26(月)~30(金) 18:30~20:00	5	土樋 キャンパス
15	キリスト教文化研究所 第49回学術講演会 ローマ帝国における初期キリスト教	11/30(金) 15:00~17:00	1	土樋 キャンパス
16	オープン・リサーチ・センター設立記念シンポジウム ヨーロッパ・グローバル化と諸文化圏の変容の解明に向けて	12/1(土) 13:00~17:00	1	土樋 キャンパス
17	第19回 東北学院大学 泉キャンパスクリスマス	12/7(金) 18:30~20:00	1	泉 キャンパス
18	東北文化研究所公開学術シンポジウム 古代・中世の北興と北方世界	12/8(土) 10:30~17:30	1	土樋 キャンパス
19	ヨーロッパ文化研究所公開講演会 「他者」との対話 -中世カトリック・ビザンツ・イスラム世界-	12/15(土) 13:30~16:30	1	土樋 キャンパス
20	オーディオ・ヴィジュアルセンター 第30回 英会話集中訓練コース(春季)	2/6(水)~22(金) 9:30~14:30	12	土樋 キャンパス
21	オープン・リサーチ・センター公開講座 古代ローマにおける宗教の多元性	3/1(土) 13:30~16:30	1	未定
22	英語文学研究所定例公開講演会 近代日本の形成とスコットランド・東北学院・宮城学院 創立者押川方義の「東北を以て日本に於けるスコットランドたるしめん」をめぐって・	3/8(土) 14:00~15:30	1	土樋 キャンパス

問い合わせ先:研究機関事務課

TEL 022-264-6405 FAX 022-264-6530

# 杉山元治郎と1冊の聖書

経済学部教授 いわもと よしてる 岩本 由輝



杉山さんが生涯手元においた聖書

1冊の聖書。それは神戸の大英国北英国聖書会社 (British & Foreign Bible Society and National Bible Society of Scotland) から1904年3月に刊行された『旧新約全書』(Holy Bible)です。よく耳にする章句をみると、現行の新共同訳で、「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。」とある「マタイによる福音書」第7章7節～11節が、この聖書では「馬(ま)太(たい)伝」第7章7節～11節として、「求(もとめ)よ、然(さら)バ與(あたへ)られ、尋(たづね)よ、然(さら)バあひ、門を叩よ、然(さら)バ開かることを得ん。蓋(そは)すべて求める者ハえ、尋(たづね)る者ハあひ、門を叩く者ハ開かる可(べけ)れバなり。爾曹(なんぢら)のうち誰(たれ)か其子(そのこ)パンを求(もとめ)んに石を予(あたへ)んや。また魚(うお)を求(もとめ)んに蛇を予(あたへ)んや。然(さ)バ、爾曹(なんぢら)悪(あ)しき者ながら善(よき)賜(も)のを其子(そのこ)に予(あた)ふるを知(しる)。まして天に在(おま)す爾曹(なんぢら)の父ハ求(もとむ)る者に善物(よきもの)を予(あたへ)ざらんや。」と訳されています。杉山さんはこのくだりに「祈に答へ給ふ

神の愛」という題をつけています。生硬にみえる文章ですが、私などにはかえって聖書らしい感じがします。文章にも時代というものがあるのでしょうか。

実は、この聖書、杉山元治郎さんが東北学院神学部に入學すべく、1905年9月1日に来仙したときに持参したもので、生涯を通じていつも身近に置いていたものです。杉山さんはその扉に、

我は明治三十八(1905)年四月に入りて確かに生まれたりと信ず。聖書は我れに与ふる甘き真の乳なり。之によりてだんだん生長せんとて此の書を求む。時に明治三十八年五月三日なり。

海南生識す

と書きつけています。

『真紅』事件で、勤務先の和歌山県農会に居にくくなっていった杉山さんが神に仕える道を選ぼうと決意したときに入手した、人生の転機を記念するものです。杉山さんは、この聖書を見るたびに、「初心に返れ」という気持ちが高めることができました。

来仙した杉山さんは、1906年4月の新学期まで、東北学院専門部文科1年の聴講生として過ごしながら、東北学院の関係者との交流を持っています。教会は日本基督教会東二番丁教会に属しましたが、仙台基督教青年会の人たちと1905年の東北大凶作に苦しむ人々の救済活動に乗り出しています。そして、遊廊に売られる若い娘がいることを知り、大きな衝撃を受けています。

海南は杉山さんの号

神の愛」という題をつけています。生硬にみえる文章ですが、私などにはかえって聖書らしい感じがします。文章にも時代というものがあるのでしょうか。

実は、この聖書、杉山元治郎さんが東北学院神学部に入學すべく、1905年9月1日に来仙したときに持参したもので、生涯を通じていつも身近に置いていたものです。杉山さんはその扉に、

我は明治三十八(1905)年四月に入りて確かに生まれたりと信ず。聖書は我れに与ふる甘き真の乳なり。之によりてだんだん生長せんとて此の書を求む。時に明治三十八年五月三日なり。

海南生識す

と書きつけています。

『真紅』事件で、勤務先の和歌山県農会に居にくくなっていった杉山さんが神に仕える道を選ぼうと決意したときに入手した、人生の転機を記念するものです。杉山さんは、この聖書を見るたびに、「初心に返れ」という気持ちが高めることができました。

来仙した杉山さんは、1906年4月の新学期まで、東北学院専門部文科1年の聴講生として過ごしながら、東北学院の関係者との交流を持っています。教会は日本基督教会東二番丁教会に属しましたが、仙台基督教青年会の人たちと1905年の東北大凶作に苦しむ人々の救済活動に乗り出しています。そして、遊廊に売られる若い娘がいることを知り、大きな衝撃を受けています。

海南は杉山さんの号

# From the President,

学長室より

## スウェーデンの運転免許証 - 国民番号など -



星宮 望 ほしのみやのぞむ  
学長

私の手元に古いスウェーデンの運転免許証があります。これは1975年に発行されたものです。少し事情を説明いたします。私は東北学院高等学校を1960年3月に卒業しました。同年4月に東北大学工学部に入学しましたが、安保条約改定の大問題で全国が沸きかえていた年ですので、大学に入学しても約半年間は授業がほとんど行われませんでした。私たち新入生もデモに駆り出され、東一番丁や青葉通りなどをデモしながら規制する警察官に反抗したりしていましたが、その数ヵ月後に警察官職務執行法が制定されてからは、行動が強く制約されることになりました。

それはさておき、私は子供の時から車の運転に大きな興味を持っていましたので、東北学院中学校・高等学校に通うバスの中で、毎日の運転手の動作を仔細に観察してその運転技術を学んでいました。当時、すでに自動車学校がありました。実技免除などはなくて、必ず宮城野原の運転試験場（現在のフルキャストスタジアム宮城の北東側の総合運動場周辺）へ行って実技試験にパスしなければならなかった。私は、大学での授業がないことを幸いに、時間貸し10分とか20分とかを利用して、トータルで3時間にも満たない練習だけで自動車運転免許を取得できました。最終的には1960年6月1日付けで大型自動車の免許を取得しました。その後、1975年5月から1976年7月の間、日瑞基金（Japan Sweden Foundation）の派遣研究者としてスウェーデンへ派遣されることになった時には、この免許証がスウェーデン語に翻訳されましたが、

なんと驚くことに、スウェーデンの免許証では、A（バイクや自動二輪車）、B（普通の自家用車）、C（大型の自動車）、D（バス）、E（特殊車両）の全てを、しかもヨーロッパ全域を10年間運転する許可が与えられていたのです。もちろん、これを有効に使って、スウェーデン、フィンランド、ノルウェー、デンマークなどを旅行したことは当然です。

さて、第2の話題に入ります。このスウェーデンの自動車運転免許証を取得するプロセスです。1975年といえば、今から30年以上前ですが、この国ではすでに国民番号というシステムが完備していました。たまたま、私たちは、仙台市川内の大手門跡に隣接していた国家公務員住宅（川内記念講堂の南側）に住んでいましたが、終戦直後に米軍進駐軍の将校が居住していたこの古い木造の住宅を廃棄する時期と重なり、我々家族がその期限ぎりぎりまで居住していました。そのため、住民登録していた仙台市の居住場所が消滅してしまい、外国への出張にともなって家族一同の住民票もスウェーデンへ移動して登録しなければならなくなりました。その登録の手続きの最初のステップは「国民番号」（生年月日の6桁＋4桁の合計10桁の数字）を取得することでした。これがなければ、住民票も作成してもらえず、アパートへの入居もできませんし、家族の医療も受けられなくなります。また、大学での教育活動に参加したときの給与もいただけなくなります。もちろん、銀行の口座を開設することもできませんし、先述の自動車運転免許証も発行されません。日瑞基金から1年に1人だけの

日本からの派遣研究員に選考されたことはありがたいのですが、支給されたのは、シベリア経由の1人分の汽車の料金プラスぎりぎりの1人分の生活費でした。それなのに、航空料金のディスカウントがない時代でしたので、家族4人が航空機の正規運賃2人分（大人2人＋子ども1人＋乳児1人）で渡航しましたので、とても大変でした。それで、家族の生活費としては、東北大学からの給与に頼らざるを得ませんでした。その時には、毎回、日本銀行の仙台支店長の許可を得て弟が送金してくれたわけですが、それでも大幅な赤字になりました。

ともあれ、1975年にはすでに「国民番号」が定着していた国が存在していたことをお伝えしたいと思います。当時、個人情報という概念は薄かったと思いますが、当時の日本での国会における議論などでは、（本音として）脱税をできなくするシステムへの抵抗が大きかったように思い、残念でたまりません。昨今の年金問題での大きな混乱を見るとき、30年前にすでにスウェーデンにおいて実施されていた事実と比較して複雑な思いがします。ご承知のことと思いますが、スウェーデンはキリスト教が広く定着している国であり、「個人の尊厳」や「個人情報」については、最も先進的であり、誰もが自分の個人情報をチェックできるようになっていました。私も、その権利を行使して、自分の個人情報が正しいかどうかを確認することができました。このような配慮をしながら、合理的な「個人番号制度」を、世界でいち早く実施していた実例があったことに学びたいと思います。

# 協奏

そして

# 共創へ

## 約4,700人が東北学院大学を体感 ～オープンキャンパスを開催～



8月4日(土)、5日(日)の両日に「オープンキャンパス2007」を開催しました。会場となった泉キャンパスと多賀城キャンパスには、約4,700人の高校生や一般の方々が訪れ、キャンパス内を自由に見学したり、模擬授業に参加するなど、“一日大学生”を体験しました。

各会場では、平成20年度から大きく変わる入学試験やAO入試などの情報を中心とした「入試説明会」、各学部・学科の紹介や教育内容を説明する「学科ガイダンス」、そしてミニ講義を体験する「模擬授業」など、それぞれのプログラムに多くの参加者が真剣に聞き入り、溢れる教室が出るなど、大盛況に終了しました。

特に今年は、初の試みとして学内施設を十分に見学してもらう目的から「スタンプラリー」を実施し、多くの現役学生にスタッフとして紹介役や施設の案内役を担当してもらい、参加した多くの高校生に大学の雰囲気を感じ取ってもらうことができました。

今後の予定は、10月6日(土)、7日(日)に多賀城キャンパスにて「工学部オープンキャンパス」、10月27日(土)に泉キャンパスにて「教養学部オープンキャンパス」を開催いたします。



学生によるガイダンス



法学部模擬授業



学生による研究紹介

## 秋田でオープンキャンパス ～まるごと東北学院大学 in AKITA～

今年からの取り組みとして、7月15日(日)に「まるごと東北学院大学inAKITA」(秋田地区オープンキャンパス、会場:秋田市文化会館)を実施しました。

当日は、秋田県内の高校生、ご父母の方々に多数お越しいただきました。会場の各コーナーでは、5学部14学科の教員が学部学科の紹介やミニ講義をしたり、入学から卒業までを分かりやすく説明しました。また、秋田出身の在学生在が大学生活や仙台での暮らしなどの情報をお話するコーナーや、住まいの状況や生活に関する情報を提供するコーナーなどもあり、参加された方々は興味深く質問等をされていました。



## 入試制度が変わります! 「全学部型試験」を導入

これまで、2月1日から4日間かけて行われてきました「一般入学試験(前期日程)」が、2008(平成20)年度より、全学部型試験日と学科分割型試験日に分かれます。2月1日(金)はどの学科でも受験が可能となるだけでなく、2月2日(土)または3日(日)にも再度同一学科の受験が可能となります。もちろん、三日とも別学科を受験することも可能です。

詳しくは、入試部入試課またはホームページでご確認ください。

東北学院大学ホームページ  
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp>

問い合わせ先：入試部入試課  
TEL. 022-264-6455  
FAX. 022-264-6377  
E-mail [nyushi@staff.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:nyushi@staff.tohoku-gakuin.ac.jp)



## 法学部

法学部の近況として3つのことを報告します。

第一は、大学を3年で卒業できる「3年次卒業」制度を導入し、昨年度の入学生から適用していることです。この制度を利用して3年で卒業するためには、3年次卒業に必要な履修登録をしていること、成績が特に優秀であること、

大学院、法科大学院に進学すること、の3条件をクリアしなければなりません。法科大学院への進学を考えている学生にとっては、もし3年で大学を卒業し、しかも法科大学院の既修者コース(2年で修了)に入学できれば、通常の場合より2年も早く司法試験の受験資格を得ることができることとなります。実際、この制度に対する関心は高く、昨年度の入学生では20余名、今年度の入学生では30余名が3年次卒業をめざす意向をもっています。

第二は、昨年度のカリキュラム改正で新設した教養教育科目「大学生活入門」のことです。この科目は、「新入生を早く一人前の大学生にしたい」との願いからできた科目です。大学とはどんなところで、どんな施設・設備を利用できるのか、授業はどのように進められ、どう受け

ばよいのか、ノートはどう取ればよいのか、レポートはどう書くのか、ゼミ発表はどうすればよいのか、試験答案はどう書くのか等々、充実した学生生活を送るのに必要な知識・技術をわかりやすく教え、そして実際にやってみます。選択科目であるにもかかわらず、法学部新入生の99%が履修しています。その成果は? といえば、少なくとも、受講者からは「大学生活を送るうえで、不安や疑問に思っていたことの大部分が解消できた」と評判は上々です。

第三に、法学部のこれからを考えるうえで重要な指針になる、法学部の教育理念と教育目標について明確化したことです。教育理念は「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」としました。また、それを簡潔に表すモットーとして、Think legally, for human dignity を用いることにしました。さらに、この理念を実現するための教育目標として、人生を主体的に生きる力、法についての正しい知識と思考、法を広い視野からとらえる教養、人間の尊厳への深い理解、隣人(他者・社会)に奉仕する精神、の5つを掲げました。



人間情報学研究科

2専攻に改組を予定

人間情報学研究科は教養学部を母体とする大学院であり、前期課程発足以来13年、後期課程発足以来11年を迎えました。修士号取得者80名、博士号取得者13名を世に送り出して参りました。

これまで1研究科1専攻で行って参りましたが、地域構想学科が最初の卒業生を出す平成21年4月をめどに、1研究科2専攻体制への改編を計画しております。専攻名は未だ確定していませんが、構成は人間科学系の専攻(従来の社会情報、行動情報学領域)と生命・情報系+地域構想系の専攻の2専攻になることが確定しております。

1専攻時代は、学部の間人科学と情報科学のスタッフを主体とした関係で、カリキュラムも、人文社会科学系から自然科学まで、取得できる専修免許も公民から数学、情報まで幅広い、複合性をまわっておりました。2専攻となることで、この状況が多少は緩和できそうに思われます。しかし生命・情報系+地域構想系の専攻は依然複合性を残しますが、将来的には、それぞれが独立の専攻になることを目指しております。

本研究科のもう一つの課題は、教養学部を母体としながら、言語文化学科の上に立つ専攻をもっていないことです。このためこの学科の卒業生で大学院に進学を希望するものは、他大学の大学院に進んでおります。言語文化系の専攻を持つことも、中長期的な目標です。

創設期から比較的最近まで、本研究科の入学者は、他大学出身者、社会人が多数を占め、本学部の卒業生はあまり多くありませんでした。それが最近では前記の入学者もかつてほどでなくなり、前途が多難な状況です。これは、研究を指導するスタッフに比して、院生の少なさをもち、院生にとっては、教員の指導を独り占めできる利点はあるものの、院生同士で切磋琢磨する刺激の乏しさは否めません。そこで、本学部から直接、大学院に進学したいと希望する現役の学生が増えるように、学費の負担の軽減、院生のティーチング・アシスタントの雇用増加、奨学金の活用などの全学的取り組みと呼応して、研究科独自に魅力的なカリキュラムの用意に鋭意取り組んでいるところです。

学生街を歩く  
Quartier Latin T.G.U.

東北初の「きねつき仕込みパン」のお店

きねつき仕込みパン工房  
みくどーる

MIKU DOLL



国道4号線バイパスを東北学院大学泉キャンパス方面へ曲がるとすぐに、赤い看板のパン屋さんがあります。名前は「みくどーる」。きねつき仕込みパンの店です。通常、パン生地はヨコ動きのミキサーでこねるのですが、こちらのお店ではスタンピング・グ・ミキサーという餅つきのような機械を使って生地を作ります。ペタンペタンとつく様子は、まるで杵と臼の餅つきのよう。

きねつきパンの特長は、水分をたっぷり含み、もちりふくら、口溶けのよいこと。とてもおいしいパンになるそうです。

さらに、新作「きねつきブレッド」が大好評。これは、パン生地を仕込む段階で熱湯を入れ、杵で仕込む、もちもちもちの湯種食パンです。ずっしり重く、もちもちとした食感は、一度食べてみる価値ありです。

みくどーるのパンは、全てきねつき。ブレッドも、菓子パンも、焼き込みお惣菜パンも、どれも、お餅のように、しっとりふくらもちもちとして、食べた後、口の中にしあわせが広がります。

また、昔懐かしいコッペパンもあり、好みのジャムなどを挟んでもらうことができます。コロッケパンやハンバーグパンなどのミニサイズ惣菜パンは、いろいろな種類を少しずつ食べたい欲張りな人にぴったり。朝の7時から営業しているので、1校目に登校する学生で、みくどーるのパンを朝食にしている人もいます。

みくどーるは、今年の4月からこの場所で営業を開始、もう一軒、南光台店もあるようですが、きねつき仕込みの手作りパンが食べられるのはこちらのお店だけ。東北でもこの店だけの、もちもちパンを一度お試しあれ。

店内には簡単なイス、テーブルもあるので、ちょっと一息いれるのにもいいですよ。

きねつき仕込みパン工房  
みくどーる  
OPEN 7:00 - 19:00  
休 日 毎週木曜日  
仙台市泉区天神沢1丁目4-16  
TEL.022-773-8955



# 私たちは せんだい・杜の都親善大使。 仙台の魅力在全国に発信しています。

仙台の魅力を全国にPRする

せんだい・杜の都親善大使として

活躍中の本学在学学生のお二人に

全国を飛び回るこの仕事の

苦労ややりがいなど、

お話をうかがいました。

経済学部経済学科 3年

田中 景子

教養学部教養学科言語文化専攻 4年

佐藤 由衣

親善大使には、とても軽い気持ちで応募しました。まさか受かるとは思っていなかったの本当に驚きました。

大使の仕事をして身に付いたのは、度胸です。就任後一番最初の仕事は、マスコミ各社への表敬訪問だったのですが、足は震えるし、お腹は痛くなるし、大使に応募したことを後悔するほどつらい思いをしました。

半年が過ぎて、仕事にもだいが慣れてきましたが、東京、神戸、盛岡など、各地での観光PRを経験したことで、緊張すると自分がどんな状態になるのかを客観的に見られるようになりました。

また、経済学のゼミで学んでいることが、出張先で見ること聞くことと繋がって、とても勉強になります。例えば、名古屋駅前のバス停は排気ガス対策の自動ドアが付いた建物式になっていたりして、名古屋の活気、民力の意識の高さを実感しました。また、観光に対する考え方やコンセプト、力の入れ具合なども各県さまざまということが分かり、さらに興味がわきました。

仙台で一番好きなのは定禅寺通と夜景が見渡せる天守閣公園。大使になってみて、普段は食べない仙台の名物を食べてみると、牛タンや、ずんだ系のお菓子などの美味しさにあらためて気づき、再認識、再発見する喜びがありました。

宮城県では平成20年に、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンが実施されます。キャンペーンを盛り上げるためにも、身の回りの身近な観光資源を再認識することが大切だと考えています。

親善大使には、大学4年間の最後の思い出と記念になればと思って応募しました。まさか受かるとは思っていなかったの、とてもびっくりしました。

大使の仕事がどんなものか、予備知識が全くないまま足を踏み入れてしまい、当初は、こんなに責任の重い仕事だったのかと戸惑うことの連続でした。

大学4年、授業単位もゼミだけで、時間がある私は、PRに出かけることが、3人の大使のなかで一番多いようで、大阪、神戸、長野、新潟、盛岡など日本各地を飛び回っています。

一番の大きな仕事は、仙台七夕まつりのPR。この仕事では、他県・地域のお祭りを実施運営する側の人々と知り合えるなど本当に貴重な体験をしました。

仙台で一番好きなのは、定禅寺通りと広瀬川ですが、この仕事に携わってから、さらに仙台の魅力を知ることができたように思います。身近なところでは、るーぶる仙台に乗って仙台を巡ったこと、身近すぎたことになかったし、各所も、知っているつもりで実はあまり知らなかったんですね。実際に回ってみて、いいところがたくさんあることに気がきました。特に瑞鳳殿が素晴らしいです。ほんの少し市街地から外れただけで、こんなに雰囲気のある場所があるのは、本当に発見でした。

親善大使の始まりは、もともとミス仙台ですが、親善大使となってからは、男性でもなれます。でもまだ一人もいません。東北学院大の男子学生のみなさん、初の男性親善大使になってみませんか。女子学生のみなさんも私たちと一緒にこの仕事をして欲しいと思います。



左から田中さん、佐藤さん

## 教養学部一期生として 学部創り、自分創りに 取り組んだ4年間

青森県総合学校教育センター  
産業教育課 指導主事

あき ば あつし  
**秋庭 淳** 氏

1970(昭和45)年 青森県北津軽郡鶴田町生まれ  
1993(平成5)年3月 東北学院大学教養学部教養学科情報科学専攻卒業  
同年 4月 青森県立青森工業高等学校教諭(情報技術科)  
1996(平成8)年4月 青森県立むつ工業高等学校教諭(電子科)  
2001(平成13)年4月 青森県立弘前工業高等学校教諭(情報技術科)  
2006(平成18)年4月 青森県総合学校教育センター指導主事(産業教育課)  
現在 に至る

### 本学に入学したきっかけは何ですか -

高校時代から興味を持っていたコンピュータや情報技術について学べる大学を探していたところ、東北学院大学に教養学部教養学科情報科学専攻が新設されることを知り、受験を決めました。入学してみて感じたのは、学部としての形ができあがっていないことへの不安。しかしすぐに、「自分でやりたいことにチャレンジ」できるんだという希望に変わりました。

### 大学4年間で一番印象に残っていることは -

全てのことが印象深いと思えるほど充実していました。教養学部の一期生であるという意識が強く、講義でも何でも自分たちで考え要求しながら創り上げていくのだという思いがありました。「これが学部の前例になるんだ」と思うと気持ちが引き締まり、さらなる意欲がわいたものです。

在学中は、さまざまなことに取り組みましたが、一番印象に残っているのは、自分たちでクリスマスパーティを企画開催したことです。もちろん前例も資金もありませんから、意見のぶつかり合い、企業や店などへの協力要請、さまざまな手続きなど大変なことの連続でした。先生方や職員の方々に助けていただきながら準備を進め、開催できたときの感動は今でも忘れられません。「これで後輩に託せる」。サークルより先学部としての結束を考えた自分たちの思いが後輩たちに伝わった瞬間でした。

### 現在の仕事に就いたきっかけは何ですか -

当時、情報技術の教員採用試験は免許の種類が問われていませんでした。採用試験を受けるにあたって、免許を取得していた数学で受けるか情報技術で受けるか迷い、結果、情報技術を選びました。大学で学んだのは、数学より情報技術だという気持ちが強かったからです。

### 現在の仕事内容についてお聞かせください -

13年間、高校の情報科の教員を務め、現在は青森県総合学校教育センターの産業教育課で指導主事の仕事に携わっています。小・中・高等学校全ての教員を対象に、校務や授業にコンピュータを活用するための講座を開催したり、

高校工業科の研修を行ったりしています。指導というよりは、一緒に考え進んでいくというスタンスで取り組んでいます。

### 大学での4年間は現在の仕事に どう活かされていますか -

大学では、知識や技術だけでなく、ものの考え方と人間関係の築き方が身につきました。仕事をしていく上で、客観的な視点で考えることも、もちろん大切ですが、ときには自分の考えを訴え、通すことも必要です。学生時代に身につけた、自分で考え、自ら行動する力は、今の仕事に役立っています。

### 後輩たちへのメッセージをお願いします -

東北学院大学は、先生方や職員の方々が学生の立場に立って、いろんな意味で助けてくれる大学です。安心して甘えてください。ただ、甘えるだけでは何も生まれません。自分を創るのは自分しかいませんので、自分がどのように成長し変化していくのかを常に考え、しっかりとした信念を創り上げることが大切です。もちろんそのベースになるのは勉強。この基礎をしっかりと築かなければいけません。大学時代を「自分を創る4年」ととらえて、日々自分を磨いてください。

### 東北学院大学に望むことをお聞かせください -

東北を代表する総合大学として、その素晴らしさをもっと中高生にアピールすべきだと思います。「自分の力を試してみませんか」と誘い、「将来は自分で創り上げていく、それができる大学がここにある」ということを強く訴えて欲しいですね。私にとって、東北学院大学は大変満足度の高い大学でした。教育・研究環境も良いし、先生方や職員の方々の学生を思う気持ちも強い。このような大学の魅力をもっと伝えてください。

今年、東北学院大学のテレビCMで、校歌が流れていたのはよかったですね。聞くたびに学生時代のことを懐かしく思い出しています。入学してすぐのオリエンテーションで、まず校歌をおぼえる、あの習慣はずっと続けていって欲しいです。そのおかげで、学院の同窓生にとって校歌が特別なものになっているのだと思いますから。

## 企業と大学の就職セミナー

8月2日、3日、全国私立大学就職指導研究会主催、東北の加盟私立9大学の企画による「企業と大学との就職セミナー-東北(仙台)大会」、「地方の学生・企業・大学の現状とそこから生まれるもの～東北地方からのチャレンジ～」を開催しました。1日目はドラゴン桜の作家三田紀房氏と株式会社幸楽苑社長新井田傳氏の講演、2日目は大学生、企業人・大学人によるパネルディスカッションという内容でした。この大会を通じ、地方の頑張りを全国に発信することができ、とりわけ東北の私立大学の結束力と協力体制は、参加者に強い印象を与えました。



土樋キャンパス就職課  
TEL 022-264-6481 FAX 022-264-6486  
多賀城キャンパス就職係  
TEL 022-368-1101 FAX 022-368-1118  
泉キャンパス就職係  
TEL 022-375-1161 FAX 022-375-1534



「**Orphanos** (ウーラノス)」は「天」を意味するギリシャ語です。使徒パウロは、イエス・キリストを「天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座の主権も、支配の権威も、万物は御子において造られた。」(コロサイの信徒への手紙1章16節)と説明しています。この箇所にも οὐρανός の語が用いられています。

### 教育研究振興資金募集のお願い

学校法人東北学院では、平成16年4月1日から平成21年3月31日の期間、右記事業の完遂に向けて教育研究振興資金を募集しております。広く皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。詳しくは、東北学院法人事務局財務部会計課までお問い合わせください。

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1  
TEL.022-264-6467  
FAX.022-264-6510

#### 【募金目標額20億円】

- 1.東北学院大学キャンパス整備
- 2.東北学院中学校高等学校校舎建設
- 3.東北学院榴ヶ岡高等学校体育館  
および管理棟建設
- 4.東北学院会館(仮称)建設
- 5.東北学院育英奨学基金の増額

#### 東北学院大学

土樋キャンパス  
大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科  
法務研究科  
学 部：文学部・経済学部・法学部(各3・4年)  
夜間主コース  
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
TEL.022-264-6411 FAX.022-264-3030

多賀城キャンパス  
大学院：工学研究科  
学 部：工学部  
〒985-8537 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号  
TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

泉キャンパス  
大学院：人間情報学研究科  
学 部：文学部・経済学部・法学部(各1・2年)  
教養学部  
〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号  
TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

#### 東北学院中学校・東北学院高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1  
TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

#### 東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号  
TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

#### 東北学院幼稚園

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎三丁目7番7号  
TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655



#### ウーラノス

東北学院大学 広報誌 vol.26

#### 広報誌編集委員会

委員長	総務担当副学長	関谷 登
副委員長	総務部長	柴田 良孝
編集長	経済学部教授	原田 善教
委員	宗教学部長	佐々木哲夫
	文学部教授	楠 義彦
	経済学部准教授	白鳥 圭志
	法学部教授	塩屋 保
	工学部教授	石川 雅美
	教養学部准教授	佐々木桂二
	総務部次長	鈴木 孝郎
	総務部総務課長補佐	斎藤 信二
	総務部総務課係長	山本 隆夫
	総務部総務課	藁科 明宏

東北学院大学広報誌「Orphanos(ウーラノス)」に関するご意見・ご質問をお待ちしております。

#### 本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて

本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

発行日は、5月15日・10月20日・2月20日です。

発行日 平成19(2007)年10月20日  
編 集 東北学院大学 広報誌編集委員会  
発 行 東北学院大学  
〒980-8511  
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
TEL 022-264-6412 FAX 022-264-3030  
URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>  
E-mail [tgsusomu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:tgsusomu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp)  
印 刷 (株)エイエイピー



古紙配合率100%再生紙を使用しています  
この印刷物は環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。